

Food styling Labo 受講規約

この規約（以下「本規約」といいます）は、Recipe of Life 主催 Food styling Labo（以下「当スクール」といいます）監修の下、当スクールによって策定、管理され、実施される各講座（以下「本講座」といいます）について定めるものです。本講座の受講希望者は、あらかじめ本規約の内容を十分にご確認いただき、ご理解とご了承を頂いた上で、お申込みくださいますようお願い致します。

第1条（適用）

1. 本規約は、当スクールが運営・実施する各講座のすべての受講者（以下「受講者」といいます）に適用され、各々が遵守すべき事項を定めたものです。また、受講希望者は、本規約に同意した上で、本講座の申込みを行うものとします。
2. 本講座の内容は、別途当スクールが案内または配布する資料等の詳細、カリキュラム等の通りとし、また、本講座の内容に追加等の変更が生じた場合は、当スクールは受講者に対し遅滞なく通知するものとします。なお、当該通知をもって、これにかかる変更は、当スクールと受講者間の受講契約に適用されるものとします。

第2条（受講申込）

1. 受講者は、本講座への申込みを当スクール所定の方法により行うものとします。
2. 前項の申込手続の不備、誤記、遅延等、もしくは本規約または申込書の記入事項等について、受講者による不知、誤認があった場合、これらに起因する受講者の不利益は受講者の責任とし、当スクールは責任を負いません。

第3条（受講料等及び支払い方法）

1. 受講者は、本講座の受講料等を、当スクールが定める期限までに各講座所定の支払方法で支払うものとします。
2. 本講座の受講料等の支払いにかかる手数料（クレジットカード決済の場合の決済手数料を含みます）は、受講者負担となります。

第4条（キャンセル、振り替え等）

1. サービスの特性上、申込・入金後のキャンセルはお受けしておりません。予めスケジュールを確認の上申込をしてください。
2. 災害、天災、その他受講者の個人的な理由により受講できない講座がある場合、他の開講日の同一講座に振替受講することができます。その場合、材料費として2,000円を当日お支払いください。
3. 当スクールはやむを得ない場合には、受講者に事前の通知なく本講座の運営を中止・中

断することがあります。

4. 前項の場合、別日程で同一講座を開講することがあります。その場合の受講者負担はありません。

第5条（本講座受講申込の承諾）

1. 当スクールの規定により決定した本講座の受講希望者（以下「受講希望者」という）は、当スクールより通知する参加費振込、手続き、書類提出を指定期限までに行い、氏名・住所・電話番号その他当スクールの別途定める事項について、正確且つ最新の情報（以下「登録情報」という）を申込書その他に記載して提供するものとします。

2. 受講希望者は、本規約の規定に従い、当スクールが参加費全額の入金および必要書類の提出を確認した時に受講者たる資格を取得するものとします。

第6条（損害賠償、免責）

1. 受講者が、当構や本講座に対して損害を与えた場合、受講者は一切の損害を補償するものとします。

2. 本講座に関連して、受講者間、あるいはその他の第三者との間で紛争が発生した場合、受講者は自己の責任において、当該紛争を解決するとともに、当構に生じた一切の損害を補償するものとします。

3. 本講座は、受講者が講義内容を習得することを保証するものではありません。

4. 提供される食材はアレルギー対応をしておりません。アレルギーをお持ちの方は予め当スクールに申告の上、受講者の判断で喫食を行うものとし、当スクールは一切の責任を負わないこととします。

第7条（秘密情報等）

1. 本規約の対象とする情報は、第2項に定める秘密情報及び第3項に定める個人情報（以下、併せて「秘密情報等」といいます）とします。

2. 秘密情報とは、受講者が本講座の受講に伴い当スクールから提供された情報及び本規約に関連する情報であって、ノウハウ、アイデア等の営業上、技術上、財産上その他有益な情報及び秘密とされるべき情報をいいます。但し、そのうち当スクールが書面によって事前に承諾した情報については除外します。

3. 個人情報とは、受講者が本講座の受講に伴い当スクールから提供された情報及び本規約に関連する情報、並びに当スクール関係者に関する情報の内、個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日、識別番号、記号、符号、画像、音声その他の記述等により特定の個人を識別できるもの（当該情報だけでは識別ができない場合であっても他の情報と容易に照合することができ、これにより特定の個人を識別することができることとなるものを含みます）をいいます。

第8条（秘密情報等の開示、漏洩、目的外使用の禁止）

1. 受講者は、秘密情報等について、厳に秘密を保持するものとし、第三者に開示あるいは漏洩し、また本規約の目的以外に使用してはいけません。
2. 受講者が前項の定めに違反したことにより損害の発生が発覚した場合、当スクールは被った損害の賠償を受講者に対し請求することができるものとします。
3. 当スクールは、受講者の個人情報を以下のような場合に限り利用するものとします。
 - (1) 個人情報の登録・変更の完了をお知らせするためのメール発信
 - (2) 当教室の講座の為の連絡
 - (3) 本スクールの品質管理の為のアンケート
 - (4) 本スクールの提供内容変更あるいは一時停止通知
 - (5) 運営者の情報提供（メールマガジン発信、ダイレクトメールの発送）
 - (6) お問い合わせ対応
 - (7) 本スクールにおける本人確認
 - (8) その他、止むを得ない事情で利用者に連絡をする場合
4. 本サービスの利用に関連して知り得た個人情報について、当スクールは以下の各号に該当する場合を除き、第三者に開示または提供しないものとします。
 - (1) 法令により提供が必要と判断された時

第9条（知的財産権の取扱い）

1. 本講座に含まれる一切のノウハウ、アイデア、手法その他の情報、本講座において提供される教材、書籍およびビデオその他一切の著作物、ならびに、本講座で使用される一切の名称および標章（以下併せて「講義内容」という）についてのノウハウ、著作権及び商標権その他一切の権利は全て当スクールに帰属し、受講者は、これらの権利を侵害する行為を一切行ってはならないものとします。
2. 受講者は、講義内容を自己の学習の目的にのみ使用するものとし、いかなる方法においても、受講者個人の私的利用の範囲外で使用し、コピープロテクトその他の技術的保護手段に用いられている信号の除去もしくは改変等を加え、または、第三者に対して、頒布、販売、譲渡、貸与、修正、翻訳、使用許諾、SNS や WEB サイトでの掲載等を行ってはならないものとします。
3. 講義・実習内容を撮影、録音をすることは許可しないものとします。ただし、受講者が講義中に作成したもの、当スクールが許可したものは除きます。

第10条（禁止行為）

1. 受講者が以下の項目に該当する場合、当構は事前に通知することなく、直ちに本規約を解除し、当該受講者の受講資格を停止、または将来に向かって取り消すことができるものと

します。また、受講資格の停止、または将来に向かっての取り消しを行った際においても、以下の項目に該当する場合、受講料の返金はいたしません。

- (1) 受講申込において、虚偽の申告を行ったことが判明した場合
- (2) 特定の宗教への勧誘活動、特定の政党や学会における選挙活動、営利活動、またはその準備を目的とした行為、その他当構が別途禁止する行為を行った場合
- (3) 本講座開催施設の規約に違反した場合
- (4) 本規約に違反した場合
- (5) 他の受講者に感染を及ぼす危険のある疾病（感染症）に罹患した場合
- (6) 申込時と異なる条件が生じた場合（就労環境・身体的事由等）
- (7) 食器や食材、スタジオ設備などの器物損壊、本講座の妨げとなる行為ないしはスクールの指示に従わなかった場合
- (8) その他、受講者として不適切と当構が判断した場合

2. 当スクールは、本条1項に該当する場合の他、受講者が本講座の進行の妨げになると判断した場合、退席を命じることがあります。

第11条（合意管轄）

本規約に関して紛争が生じた場合は、当スクールの所在地を管轄する地方裁判所または簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

2020年2月11日 制定・施行

2020年2月25日 改定